

平成31年4月3日付【日本下水道新聞】
福岡市 下水・集排の管路と施設
九州支部＜民間3団体と復旧協定＞

民間3団体と復旧協定

福岡市 下水・集排の管路と施設

福岡市は3月18日、市役所で日本下水道管路管理業協会、日本下水道施設業協会、全国上下水道コンサルタント協会の3団体と「災害時における復旧支援協力に関する協定」を締結した。

対象範囲は、公共下水道施設に集落排水施設を加えたもので、災害時の支援協力範囲も管路・処理施設双方にまたがることから、市内での災害発生時の垣根を越えた迅速な対応が期待される。

復旧支援協力の内容は、管路協が管路施設の

緊急措置（管路閉塞時の

汚水の溢水を防ぐための汚泥吸引車による汲上げ作業）、仮設ポンプと仮配管による応急復旧、被害状況調査。施設協が処理場・ポンプ場の機械・電気設備の復旧支援協力（一次調査、応急復旧等）。水コン協は主に災害査定資料の作成。

なお平成28年熊本地震では、同市道路下水道局からも復旧支援のため職員を派遣。同局では支援業務で得た経験等を踏まえ、対応マニュアルの策定や訓練の実施等の取り組みを進めている。



協定書を手にする関係者